

英国知的財産庁（UKIPO）、2024年～2027年の英国における知的財産戦略を公表

2024年6月5日

JETRO テュセルトル事務所

英国知的財産庁（UKIPO）は、2024年5月2日、2024年～2027年の英国における知的財産戦略をウェブページにて公表した。

本戦略の目的は、英国が科学技術の世界的リーダーとしての地位を固め、世界で最高のクリエイティブな産業を持つこと。

UKIPO は優先順位を設定することで、リソースを最大限活用し、創造性とイノベーションへの投資を奨励する知的財産制度を提供することで、英国経済の成長に貢献する。2024年～2027年の英国における知的財産政策戦略における3つの柱は、次のとおり。

<① サービス：高品質、効率的、アクセス可能とする>

高品質でタイムリー、将来を見据えた知的財産保護の提供のため、サービスを変革

- ✓ すべての登録知的財産権（特許、商標、意匠）のために新統合システムを導入し、ユーザーがすべての知的財産権を一箇所でシームレスに扱えるようにする。
- ✓ UKIPO のサービスは、最新のインフラを使用して将来の変化を簡素化し、顧客に応じて迅速に適応及び革新し、新たな技術の利益を活用できるようにする。
- ✓ 新顧客アカウントは、より迅速で容易なコミュニケーションを可能にし、UKIPO のサービスをさらに改善し、リアルタイムのコミュニケーションとコラボレーションを可能にする機会を創出する。

知的財産の価値を最大化し、経済成長を支援するために、データの可用性を実現

- ✓ データの質を検証し、正確で、アクセス可能で、正しく構造化され、管理され、適切な場所に保存されていることを確認し、データを資産とするために必要なデータセキュリティと結束力を提供する。
- ✓ データの質を向上させ、内部活動や提供する製品・サービスについて、より良い情報に基づいた意思決定を行うことができるようにする。

イノベーションと創造性を刺激する適切なツールと支援を提供

- ✓ クリエイターやイノベーターが知的財産の利益を理解、活用、最大化できるようにサービスを改善し、拡大する。
- ✓ 中小企業へのリーチとインパクトを最大化し、中小企業が知的財産の価値を認識し、それを活用した繁栄と成長を支援できるように、活動を改善する。
- ✓ 知的財産制度の仕組みを知ることは、個人や企業がイノベーションや創造性を商業

化するのに役立つため、学生、研究者、起業家が知的財産の価値を理解できるよう支援して、知的財産制度へのアクセスを改善する。

<②政策：イノベーションと経済の支援>

英国の法律が社会利益のためイノベーションと創造性を奨励

- ✓ イノベーターとクリエイターにインセンティブを与えつつ、消費者に信頼を与える知的財産制度を推進する。また、公共の利益のために知識を普及させる。

知的財産権が尊重され、国内外で知的財産権の執行を可能とする

- ✓ 知的財産権の効果的な民事及び刑事での執行を支援し、権利者に正義をもたらし、将来の侵害者を抑止する。
- ✓ 知的財産権を侵害する商品やサービスの需要を低下させるために努力する。英国内外の権利者、法執行機関、司法制度と協力し、模倣品や海賊版コンテンツを購入することのリスクと結果について消費者が理解できるよう支援することで実現する。

英国と世界のイノベーションを支援する知的財産制度を国際的に形成

- ✓ 知的財産は、グローバルな貿易協定に望むことを中心にあり、二国間および多国間交渉を通じて、世界中のイノベーションを公平に支援できる国際的な知的財産の枠組みを設定するための努力を続ける。

<③組織：共通の目標で結ばれた、熟練の従業員による高いパフォーマンス>

人材と文化の発展

- ✓ 各個人の個性を尊重し、有意義なつながりを促進し、包摂性と帰属意識を優先することで、柔軟性が高く、協力的な組織を目指す。質の高いリーダーシップとマネジメント、変化への寛容さ、長期的視野に立った行動への焦点を通じて、継続的に高い業績を達成する組織となる。継続的な改善の考え方を基盤に、従業員のスキルアップを図り、さらに積極的に関与する。
- ✓ 昨年、高い業績の達成に関する戦略と目標に最も適した文化について合意した。自身の経験、発展、能力、業績に責任を持ち、同僚と効果的な関係を築く。共に戦略を実現し、成功を分かち合い、互いに、そして組織とつながる。
- ✓ この文化を実現するために、プロセス、構造、スキル、システムなどを含めて、その原動力となる重要なものに変更を加えていく。新たなリーダーシップ戦略についてのコミットメントを実現し、新たな人材戦略を発展させることを優先し、どこで働く場合（ニューポート、ロンドン、オフィス以外の場所）でも、物理的環境と周囲の組織が共に成功するための設備戦略を実現する。

ガバナンスと計画システムの再評価と刷新

- ✓ プロアクティブで将来を見据えた計画と、効果的な行動指向の（サービスの）提供は、高い業績を達成するための要素の一部であり、経営計画、財務計画、戦略的人員計画の方法を改善する。

財務的に持続可能であること

- ✓ 毎年の予算管理から長期的な予算管理計画に重点を移す。これは、従業員、職場環境、設備、顧客サービスとシステム、そして政策目標に必要な投資をカバーする。
- ✓ 将来、大規模な変革プログラムを求めるのではなく、継続的に必要な投資を行う。可能な限り、ソフトウェアやサービスを提供する際は、（自前で）構築する前に購入し、コード化して再利用する前に環境設定し、新しくする前に再利用することで、導入にかかる時間とコストを最小限に抑え、調達、管理、メンテナンスの経費を削減する。
- ✓ 財務計画は、支出が効率的で、金額に見合う価値を確保し、英国財務省の財務目標に合致することを保証する。

今回公表された戦略では、英国の科学技術及びイノベーションが発展するように、どのように UKIPO が役割を果たしていくのかについて、具体的に3つの柱が述べられている。特に、財務的な持続可能性として、（具体的な言及はないが、）予算管理を毎年の管理から長期的な管理に重点を移すとしていることから、今後どのような変化があるのかについて注目していきたい。

－ UKIPOのウェブページでの公表は、以下参照 －

[IP for a creative and innovative UK Strategy 2024 to 2027](#)

(以上)